

大限界 オタク用語辞典

小出 祥子/編,
名古屋短期大学小出ゼミ(2022・2023 年度生)/著
三省堂 2023.12



この『大限界』では、オタク共通用語に加え、各界限の用語が辞典形式で紹介されています。何とこの本、学生さんが作った辞典なのです！恐らくそれぞれの担当界限の用語を編集されたのではないかと思います。秀逸なのはその用語の用例です。非常にわかりが深い用例の数々…。他界限の用語も勉強になります。限られたコミュニティの中だけで使われている言葉たちを、一つずつ丁寧に拾い集め、語釈と用例を書かれたその熱意に感服です。

(岡崎市立中央図書館 落花生 1号)

* 所属館名は執筆当時のものです。

第 12 号 (2025 年 1 月 31 日)

編集 愛知県公立図書館長協議会
ヤングアダルトサービス連絡会
事務局 愛知県図書館
名古屋市中区三の丸一丁目 9-3
TEL 052-212-2323

WEB 版は愛知県図書館 HP 内、ティーンズコーナーのページに掲載(バックナンバーもあります)

ティーンのための

Aichi Librarians' Choice

A・L・C あるく

no.12

愛知県内の図書館員がティーンのみんに
オススメの本を紹介するA・L・C

今回のテーマは… **推し!**

- 推し本 …p.1
- 推し作家 …p.6
- 私の「推し」ジャンル …p.9
- 推しを究める …p.12
- 推し活 …p.14

本を読んだことがない 32 歳がはじめて本を読む

かまど, みくのしん/著 大和書房 2024.8

今回は「推し」がテーマということで、私の R6 年度イチオシの本を紹介します。

この本はもともとネット記事だったので、それがバズっていたのをご覧になったかたもいらっしゃると思います。

これを読んで私は、読書がいかに自由なものかを思い出し、他人にも、自分にも強制されることなく、感じるままに読みたいものを読めばいいという原点に立ち返ることができた気がします。

『変な家』の雨穴さんの書き下ろしもあるので、興味を持ったかたはぜひ。

(岡崎市立中央図書館 落花生 2号)





推し本



かんぱんのないコーヒーや

かめおかあきこ/著 ほるぷ出版 2024.5

森で古本屋を営むオオカミくんは、どんぐりコーヒー（自家製）がお気に入りで、お客さんにもふるまいます。ある日、どんぐりを焼く香りに誘われてに入ったコーヒー屋。くまマスターが作るコーヒーに衝撃を受け、その味を極めようと教えを乞いますが、断られます。オオカミくんは諦めず、自分で研究し、コーヒー屋にも通い、古本屋も閉めて極めようとする…
努力家のオオカミくんもさることながら、職人気質の“くまマスター”が醸し出す、渋い佇まいも一押し（推し）です！



(名古屋市中村図書館 るんくる)

カラフル

森 絵都/著 理論社 1998.7



「おめでとうございます、抽選にあたりました！」と僕の前に現れたのは、天使のブラブラ。前世で犯した罪を思い出すために、服薬自殺をした少年、小林真の魂になりホームステイすることに。最初は、恵まれた家に来たと思っていたが、だんだんと真を取り巻く人の醜さに気づき、嫌気がしてきます。しかし、少しずつ誤解がとけ、自分の犯した罪と向き合うことに。犯した罪とは何か。子どもの頃に読んでとても印象に残っている本で、私の「推し本」です！

(田原市中央図書館 くまろう)



「好き」を言語化する技術

推しの素晴らしさを語りたのに「やばい!」しかでてこない

三宅 香帆/著 ディスカヴァー・トゥエンティワン 2024.7



「自分だけの『言葉』を見つけたら、あなたの『推し』はあなただけのもの」

「好き」=「推し」を、よりクリアに、自分だけのタカラモノにするための言葉を見つける方法が、わかりやす〜く紹介してあります。この「言語化」する技術は、感想文や小論文、面接の自己PRにも使えるテクニック！

自分の「好き」を自分の言葉で心の中に保存することができるようになれば、「推し」は永遠にあなたのもの。

(愛知県図書館 cotton100%)

うまいダッツ

坂木 司/著 文藝春秋 2024.3

うまい棒一本で世界の秘密がわかるらしい…。これって、本当！？

真実を突き止めるため、「喫茶部」、イヤ「おやつ部」の2年生、コウ・アラタ・タキタ・セラはショッピングモールに出かけ、預言者探しをはじめた。お菓子を持ち寄って食べながら話す、なんともゆる〜い部活に所属する高校生の日々を描く。鉄オタ、ライトオカルト好き、アニメと声優好き。それぞれの「推し」がおいしい味を出しています。

(名古屋市鶴舞中央図書館 キコ)



押し活



オタク女子が、4人で暮らしてみたら。

藤谷 千明/著 幻冬舎 2020.9

ある一軒家で一緒に暮らしている4人の共通点は、オタクのアラフォー単身女性！推しているジャンルはバラバラだけど、趣味を語り合いながら暮らしたら面白そう！そんな思いから始まったゆるくてリアルな日常エッセイ。ルームシェアを検討している人もそうじゃない人も楽しく読めると思います！読んだらきっと彼女たちを推しているかも！

(常滑市立図書館 読者)



大丈夫じゃないのに大丈夫なふりをした

クルベウ/著 藤田 麗子/訳 ダイヤモンド社 2021.4



私にとって「押し」は、日常生活に元気を与えてくれる栄養ドリンクのような存在。ちなみに私の「押し」は誰もが知る韓国アイドルグループだ。そんな彼らのお勧めと聞いて、手にとったのがこの本である。「なんか疲れたな」「無理したな」と思ったら、彼らを知らなくてもぜひ読んでほしい。読みやすい言葉で紡がれるエッセイは、特別なことが書かれているわけじゃないけれど「頑張りすぎないでいいんだよ」と、そっとあなたを応援し問題解決のヒントをくれることでしょう。あなたの「押し」はどんな本を読んでいるのかな？「押し」が読んだ本を共有することで、いつもは手に取らない本との出会いがあるかもしれませんね。

(武豊町立図書館 ピョル)



トム・ゴードンに恋した少女

スティーブン・キング/著 池田 真紀子/訳
河出書房新社 2024.10

おしこしたかっただけなのに……。ハイキングで道をはずれ森に迷い込んだ9歳のトリシア。そこから始まる過酷なサバイバルでよりそってくれるのは、年中けんかしているママとお兄ちゃんでもなければ遠くに住むパパでもない。大好きな野球選手のトム・ゴードンだけだった。虫や腹痛や飢えと戦い、追ってくる「何か」におびえながらトムの静かな声をささえに彼女は進む。ハラハラドキドキの展開から余韻の残るラストまで、シンプルなストーリーがここまで胸アツになるとは予想もできないでしょう。

(名古屋市東図書館 Y・O)



バムとケロのにちようび

島田 ゆか/著 文溪堂 1994.9

バムケロは今年で30周年です。おめでとうございます。表紙から裏表紙まで描いてあるもの全てが愛おしい絵本です。ぬいぐるみやカレンダーなどのグッズが今でも発売



されていて、押し活がはかどります。ページを開くと、よく絵本を読んできた祖母の聲がきこえてくるような思い出の絵本です。家具や小物、食器などデザインが細かく描かれていて見ているだけでも飽きないです。1ページに何分かけても良いので隅々まで見てください！

(豊田市中央図書館 おじぎちゃん)



レーエンデ国物語

多崎 礼/著 講談社 2023.6

聖イジョルニ帝国の異郷の地レーエンデ。ここでは満月の夜に「銀呪病」に冒されるといふ。騎士団長ヘクトルとその娘で「天満月の乙女」ユリアはこの地に足を踏み入れ、天涯孤独の射手トリストンと出会う。

ページをめくる手が止められなくて、でも読み終えてしまうのがもったいなくて…！神秘的呪い、譲れない信念、守りたい大切な人…あなたはどの人物とともに物語を歩みますか？繰り返し読みたくなる珠玉のファンタジー、激推しです。



(名古屋市鶴舞中央図書館 満月)

コウペンちゃんとなが世界の名画

るるてあ/イラスト, 稲庭 彩和子/監修・著, 鮫島 圭代/著
KADOKAWA 2021.9



日常のほんの些細な出来事も「えらーい！」と全力で褒めてくれるコウペンちゃん。これはコウペンちゃんと一緒に名画を楽しむための本です。「今日もがんばるあなたを応援してくれる名画」や「おひさまみたいなやさしい気持ちになれる名画」など、元気になれる作品がまとめられています。好きなページから読んでみてください。コウペンちゃんたちが名画を見て感じたことを自由に伝えてくれます。

(田原市中央図書館 玄米)

蜂と蟻に刺されてみた

「痛さ」からわかった毒針昆虫のヒミツ

ジャスティン・O.シュミット/著, 今西 康子/訳
白揚社 2018.7



昆虫毒を専門とした生物学者の体験をもとに書かれた本です。ハチ・アリ類の毒液と刺す行動の謎についてより深く知ると、世界をまたにかけたエピソードはスリリングで面白いです。痛みにもだえ苦しみながら調査する姿は、昆虫への底知れない愛を感じます。ひよっとすると研究って推し活にかなり近いのかも？刺された時の感じと痛さのレベルを表した巻末の付録は必見！痛みの表現が独特で、著者の人柄までうかがえます。

(東海市立中央図書館 ちょこれいと)

ぼくは「つばめ」のデザイナー

九州新幹線 800 系誕生物語

水戸岡 鋭治/著 講談社 2004.12

九州新幹線「つばめ」のデザインをした水戸岡鋭治さんの自伝です。水戸岡さんの作品には見た目の美しさだけではなく、汚れが目立ちにくさや使い勝手など実用性のある理由がちゃんとあります。使う人のことを考え抜いたデザイン。心惹かれる理由はそこにあるのかもしれませんが。

水戸岡さんのように「好き」を仕事にできる人ばかりではありませんが、働くことのヒントがいっぱい詰まった本なので、デザインに興味がある人はもちろん、進路に悩むあなたにも。

(愛知県図書館 haco)



推しを究める

世界は変形菌でいっぱい

増井 真那/著 朝日出版社 2017.11



変形菌とは、その名の通り、姿を変える生き物のこと。アメーバのように広がったり、つやつやのきれいな玉になったり、孢子になって空中を飛んだり。著者の真那くん（出版当時なんと16歳！）はそんな変形菌を激推し。外で観察するだけでなく、家でもたくさんの変形菌と暮らし、研究を続けています。流行や周りの目が気になるという人はこの本を読んでみて！自分の好きなものにまっすぐ向き合う勇気をもらえます。

（名古屋市南図書館 あわい）

寝ても覚めてもアザラシ救助隊

岡崎 雅子/著 実業之日本社 2022.6

SNSで話題になったオランダのアザラシ保護施設、通称「アザラシ幼稚園」。施設にいるアザラシたちの様子がライブ配信で見られ、とても癒されると評判になりました。実は日本にも北海道紋別市にアザラシの保護施設があり、著者はそこで働く職員。幼い頃にアザラシのぬいぐるみを手にしてから、すっかりアザラシの虜に。「好き」の気持ちが強すぎて、動物病院の獣医師を経て、ついにアザラシ保護施設の飼育員になりました。本書は著者が飼育員になるまでのいきさつと、アザラシの生態や保護活動の様子などを紹介。「アザラシ愛」がぎゅ〜とつまった一冊。いかがですか？

（津島市立図書館 ふわふわあざらし）



星が人を愛すことなかれ

斜線堂 有紀/著 集英社 2024.8



推しといえば、アイドル！煌めくステージに立つアイドルたち。そんな彼女たちを取り巻く鬼気迫るほどの恋愛模様と、地続きにある人生をテーマにした短編集です。お世辞にもきれいとは言えない妬み嫉みを赤裸々に描くさまは、読んでいて苦しいほど。それでも、まさに星のように、ごうごうと命を燃やして光る彼女たちから目が離せません。

推し文化が浸透したこの時代だからこそ生まれ、この時代だからこそ読んでほしい恋愛小説です。

（刈谷市中央図書館 RRR）

風が強く吹いている

三浦 しをん/著 新潮社 2006.9

お正月に行われている箱根駅伝。みなさんは見たことがありますか？私はこの作品と出会うまで、駅伝についての知識も興味もまったくありませんでした。ですが、この本を読んではからは、毎年箱根駅伝を見るのが正月の楽しみになっています。駅伝に賭ける大学生たちや、それを支える人々のバックグラウンドを思い、胸が熱くなります。読んだらきっとあなたも、来年のお正月は駅伝を見たいかなと思います。

（愛知県図書館 pom）





推し作家



国境のない生き方 私をつくった本と旅

ヤマザキ マリ/著 小学館 2015.4



ヤマザキマリさんのお母様は、女手ひとつで娘 2 人を連れて、東京から北海道に移住。「大自然と旅、そして書物が娘を育むための大事な要素だ」と早いうちに気づく。娘へのプレゼントはいつも本。14 歳で欧州へのひとり旅。その後の山あり谷あり旅ありの人生。自分の並の人生とは、スケールが違いすぎて比べ様もなく驚く。影響を受けた数々の本の紹介とともに、歩んできた道、その時々を考えてきた様々なことが盛りだくさん語られている。大切なことは何か、思わずうなる。

(刈谷市中央図書館 大熊猫)

あなたにあえてよかった

田村 セツコ/著 興陽館 2022.3

本の挿絵が作品のイメージにぴったりだと、楽しさが倍増しますね。私の推しは、挿絵画家の田村セツコさんです。子供のころ大好きだった「おちゃめなふたご」シリーズは、今でも田村セツコさんのイラスト通りの女の子たちが動いている想像しかできません！私の中高校生の娘たちも「かわいい」と言う、古くならないセンスに脱帽です。著書を読むと、こんなキュートなお人柄だからこそ、すてきな絵が描けるんだなあとわかりますよ。

(刈谷市中央図書館 HK)



仏果を得ず

三浦 しをん/著 双葉社 2007.11



ここ 10 年程、文楽にはまっています。文楽-人形浄瑠璃を知っていますか？人形を操り、義太夫の語りと三味線で演じられる日本の伝統芸能にして世界遺産。年寄り臭い？それなら、この『仏果を得ず』、読んでみてください。若い太夫と三味線ひきの奮闘が軽快な筆致で描かれています。恋あり、情熱あり、成長あり…まさに「青春」！同じ著者の「あやつられ文楽鑑賞」を合わせて読むと、文楽の世界がぐっと身近になりますよ。

(武豊町立図書館 ぴっぴ)

とりかえばや物語(21世紀版 少年少女古典文学館8)

田辺 聖子/[訳]著 講談社 2009.12

古典って面白い！

私が古典推しになったきっかけの本です。平安時代末期に成立したこの物語。主人公は活発で人懐っこい姫君と内気で人見知りする若君の兄妹。双子のようにそっくりな二人は、性別を入れ替え、正体を隠して生活している。二人の父は「とりかえばや」（二人をとりかえたい）と嘆くが…今でいう「男装の麗人」と「男の娘」が主人公の物語を、千年前に書いた人がいたなんて！と初めて読んだときは驚きました。古典って意味わからないし古臭い！という思い込みをぶち壊されるかも？



(豊明市立図書館 なな)



生活はクラシック音楽でできている

渋谷 ゆう子/著 笠間書院 2024.1

NO MUSIC NO LIFE

気分転換(ノ)や BGM になくてはならない音楽 (本を読むときは必須！)



音楽は生活の中に入り込み、クラシックに限らず、ロックやジャズ、JPOP は様々なシーンで流れています。この本はクラシックに特化しています。日常になじんだ名曲を、作曲家の人生とリンクさせ、使用された CM や映画果ては家電のメロディまで面白可笑しく解説しており、プチ知識としてストックしてはいかがでしょう。QR コード付きなので音楽を流しながら読み進めると楽しいですよ。私は YouTube を見ながら楽しみました。クラシック音楽に興味ある方もない方も読んで(聴いて)みてね。

(あま市美和図書館 Bamusemama)

マリー・アントワネットの日記 1・2

吉川 トリコ/著 新潮社 2018.8

私の「推し」の話を聞いてください…マリー・アントワネット様のことをッ！この作品のマリー様は悩み苦しみながらも、一生懸命生きたツヨツヨな女の子として描かれています。この日記を



読むと、14歳で繰り上がり婚姻したマリー様、いやトワネットちゃんのアウェイなフランスで送る日々に共感応援してしまうこと間違いなし。作中トワネットちゃんの「推し」は、ルイ16世(夫)。彼女の「推し」話もどうかお楽しみに。

(刈谷市中央図書館

最推しはアン・ブーリンとか言ったら、怒られますかしら。)



おもいで星がかがやくとき

刀根 里衣/著 NHK出版 2017.5

私の推しは、刀根里衣さんの描く絵本です。どの作品も絵がとてもかわいくてきれい！見ているだけで心がほんわかしてきます。刀根里衣さんの作品のファンになったきっかけが、この「おもいで星がかがやくとき」です。突然いなくなってしまった大切な人がお星さまになったと聞き、その星を探しに行く、ねずみのピナの物語。大切な人を亡くした悲しみや周りの人のあたたかさが、とても切なく思わず胸がぎゅっとなります。ページをめくるたび感動しますよ。

(知多市立中央図書館 ポテトサラダ)



ナナメの夕暮れ

若林 正恭/著 文藝春秋 2018.8



私の推しのお笑い芸人、オードリー若林正恭さんのエッセイ本です。彼の幼少期から現在までの悩みや葛藤など、様々なエピソードが短編になって書かれています。タイトル通り、物事を他人とは違う「ナナメ」の視点から見えてきた若林さんの独自の世界観にとっても引き込まれます。中でも、「2009年とぼくと」というエピソードは、小説のような表現で書かれており、読み終わった後に清々しい気持ちになれるオススメの話です。自分の将来や日々の生活で悩んでいた、行き詰まっているときに新しい視点を気付かせてくれる、そんな一冊です。

(東海市立中央図書館 推しの子の子)



きょうの日はさようなら

一穂 ミチ/著 集英社 2016.1

双子の高校生・明日子と日々人の元にやってきた、いとこの今日子。彼女は30年前に火事で火傷を負いながらも奇跡的に生き延び、そのときそのまま時間が止まっているという。

30年前の女子高生ときいて構えていた明日子だが、話してみると普通の子高生で、すぐになかよくなった二人。けれど今日子には、他人には言えないさらなる秘密があって…。

私の「推し」作家・一穂ミチさん初の一般向け作品で、直木賞に続く一穂さんの一般文芸の歴史はここから始まった（と個人的に思っています）。現役JKにも、今日子と同世代の90年代のJKにも、もちろんそれ以外の皆さんにも、ぜひぜひおすすめめの1冊です。

(津島市立図書館 ★)



犬と、走る

本多 有香/著 集英社インターナショナル 2014.4



推しは、本多有香さん。極寒の中の1600kmにもわたる過酷な犬ぞりレースを12日間で完走する犬ぞり師です。旅先で出会った犬ぞりに感動した本多さんは、犬ぞりを学ぶため無給で働いたり、レースの資金を稼ぐためにバイトを掛け持ちしたり、電気も水道もない自作の小屋で犬の世話をしながら生活をしたりします。ご自身で書かれた実話で、厳しい状況であっても、好きなことをして自由に生きることの素晴らしさを教えてください。

(刈谷市中央図書館 クロ)

私の「推し」ジャンル

樹木たちの知られざる生活 森林管理官が聴いた森の声

ペーター・ヴォールレーベン/著、長谷川 圭/訳 早川書房 2017.5



心や体が疲れた時、独りで考えたい時など、山や公園、森へ出かける。樹木達の下に居続けることにハマっている。何故、彼らの中にいると心地良く、癒されるのだろう。最近、この本を読んでその理由が分かった。世界的にベストセラーになった本だ。彼らは、その場に動かずただ突っ立っているだけではない。彼らは、子を産み、育て、驚くべき方法でネットワークを作り、その完璧なネットワークを駆使し、会話し、情報交換を行い、危険を共有し、助け合い（異種の木さえも）日々を生き生きと生きている。彼らは、愛情、知恵、思いやり、遅しさを、そして人間以上に尊い心を持っている。君も彼らの中にでかけてみて欲しい。きっと心が癒され、元気を貰はずだ。

(刈谷市中央図書館 みーちゃん)

日本の武将超図鑑

川口 素生/監修 あかね書房 2022.1

武将好きにはたまらない図鑑が登場！有名武将50名が簡潔にわかりやすくまとめてあり、イラストも勇ましかったり可愛かったり、性格がよくあらわされていて楽しい！武将たちの生い立ちや実績はもちろん、家紋の解説やゆかりの人物も興味深い。日本の歴史を変えた大合戦が再現されているのも嬉しい。「今を生きるキミたちへ！」は必読しよう。武将の生き方や考え方がきっと皆への良いアドバイスになるだろう。本当にずっと見てられる！

(あま市美和図書館 あめちゃん)

